

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【公開番号】特開2021-94331(P2021-94331A)

【公開日】令和3年6月24日(2021.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-028

【出願番号】特願2019-229462(P2019-229462)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月27日(2021.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内部抽選手段による内部抽選の結果が所定の結果となった遊技において、ストップスイッチが所定の操作態様で操作されると所定図柄組合せが表示可能であるよう構成されており、

所定図柄組合せが表示されると所定数の遊技媒体が付与可能であるよう構成されており、

所定の遊技状態での或る遊技で内部抽選手段による内部抽選の結果が所定の結果となった場合は、所定の操作態様が報知可能であるよう構成されており、

所定の操作態様は、所定のストップスイッチを最初に操作することを含む操作態様であり、

所定の操作態様の報知態様として、所定のストップスイッチを最初に操作させる旨の表示である所定画像を少なくとも有しております、

所定の操作態様が報知されているときに所定のストップスイッチが最初に操作された場合の所定画像の消去態様と、所定の操作態様が報知されているときに所定のストップスイッチではない特定のストップスイッチが最初に操作された場合の所定画像の消去態様とは消去態様が異なるよう構成されている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明は、以下のような特徴を備えている。なお、以下の特徴構成の説明では、後述する実施形態において対応する構成の一例を括弧書きで示している。

本発明に係る遊技機は、内部抽選手段による内部抽選の結果が所定の結果となった遊技において、ストップスイッチが所定の操作態様で操作されると所定図柄組合せが表示可能であるよう構成されており、所定図柄組合せが表示されると所定数の遊技媒体が付与可能であるよう構成されており、所定の遊技状態での或る遊技で内部抽選手段による内部抽選の結果が所定の結果となった場合は、所定の操作態様が報知可能であるよう構成されており、

り、所定の操作態様は、所定のストップスイッチを最初に操作することを含む操作態様であり、所定の操作態様の報知態様として、所定のストップスイッチを最初に操作させる旨の表示である所定画像を少なくとも有しており、所定の操作態様が報知されているときに所定のストップスイッチが最初に操作された場合の所定画像の消去態様と、所定の操作態様が報知されているときに所定のストップスイッチではない特定のストップスイッチが最初に操作された場合の所定画像の消去態様と、は消去態様が異なるよう構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

参考態様の遊技機は、マックスベットスイッチと、清算スイッチと、遊技価値が投入される投入口と、を備え、遊技価値が投入されたこと又はマックスベットスイッチが操作されたことに応じてベット処理を実行可能であり、清算スイッチが操作されたことに応じて清算処理を実行可能である遊技機（例えば、スロットマシン）であって、清算スイッチが操作されてから当該清算スイッチの操作に応じて清算処理を実行開始するまでの期間において、マックスベットスイッチが操作された場合は、当該マックスベットスイッチの操作に応じたベット処理は実行しない一方で、前記期間に対する所定のタイミングで遊技価値が投入された場合は、当該遊技価値の投入に応じたベット処理を実行することが可能に構成されることを特徴とする。